

数学

慶應義塾大学 経済学部 1/1

＜全体分析＞

試験時間 80 分 解答問題数 6 題

解答形式

[1], [2], [3]はマーク式, [4], [5], [6]は記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)
難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

典型的な問題の出題が中心であるが、質、量ともに重い計算が求められる。
図形的センスも問われる。

その他トピックス

特になし

＜大問分析＞

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	積分法	数学II	3次関数の積分、対称式	標準
(2)	図形と方程式	数学II	円と三角形の交点を求める	標準
[2]	数列	数学B	連立型隣接二項漸化式	やや難
[3]	確率	数学A	硬貨を投げ整数を定め、確率、期待値を計算	標準
[4]	指数・対数関数	数学II	対数関数の方程式	標準
	2次関数	数学I	2次方程式の解の配置	
[5]	空間ベクトル	数学C	正四角錐、平面と直線の交点、体積比	標準
[6]	微分法・積分法	数学II	3次関数とその接線、囲まれた図形の面積	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

＜学習対策＞

標準的な問題が出題の中心であるが、やや難しい問題、計算量の多い問題も出題される。

例年「数列、確率、指数・対数関数、空間座標、微分法・積分法」は出題されるので、これらの分野は特に学んでおきたい。

なお、英数のマーク式の部分が一定の点数に達しないと、[4]～[6]の記述部分は採点されないので注意が必要である。